

広域観光周遊ルート形成計画 認定一覧

別紙2

No.	ルートの名称(英訳含む)	申請者	形成計画の概要	主な広域観光拠点地区
1	アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道 Hokkaido - Route to Asian Natural Treasures	「プライムロード ひがし北・海・道」推進協議会 会長:上野洋司(ひがし北海道観光事業開発協議会会長)	北海道道東の四季折々の大自然、景観、食等を活用し、富裕層をターゲットに誘客を図る。札幌地区に集中しているインバウンドの呼び込みも目的。	富良野地区、十勝川温泉地区、知床地区、釧路地区等
2	日本の奥の院・東北探訪ルート “Exploration to the Deep North of Japan”	東北観光推進機構 会長:高橋宏明(東北経済連合会会長)	自然と東北の歴史文化、食を探訪するルート。台湾、香港等の個人旅行を主な対象とする。仙台空港並びに首都圏、函館からの誘客を図る。観光による復興加速化もテーマ。	八甲田・十和田・奥入瀬地区、角館・田沢湖地区、仙台・松島地区、蔵王・山寺地区、会津・喜多方・磐梯・大内宿地区等
3	昇龍道 SHORYUDO	中部(東海・北陸・信州)広域観光推進協議会 会長:三田敏雄(中部経済連合会会長)	豊かな山岳等の自然、歴史、ものづくり文化などを活用し、アジアやアメリカからの誘客を図る。セントレア、東海道新幹線と北陸新幹線効果によりゴールデンルートからの呼び込みを目指す。	白川郷・五箇山地区、金沢地区、飛騨高山地区、伊勢・鳥羽・志摩地区、富士山南麓地区等
4	美の伝説 THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI	・関西広域連合 広域連合長:井戸敏三(兵庫県知事) ・関西経済連合会 会長:森詳介(関西電力取締役会長) ・関西地域振興財団 常務理事・事務局長:安竹素之	5つの世界遺産をはじめとする豊富な歴史遺産や絶景、食等を活用し、東南アジアや欧米のリピーター等に誘客を図る。京都・大阪から南近畿、北近畿への呼び込みを目指す。	古都奈良の文化財地区、熊野地区、天橋立地区、古都京都の文化財地区、大阪城エリア地区等
5	せとうち・海の道 The Inland Sea, SETOUCHI	・瀬戸内ブランド推進連合 会長:湯崎英彦(広島県知事) ・瀬戸内観光ルート誘客促進協議会 会長:山下隆(中国経済連合会会長)	世界有数の静かな内海(うちうみ)の景色と歴史的な建築物・工芸等を活用し、ゴールデンルートの延長線上に観光動線を形成し、欧米富裕層等をターゲットに外国人宿泊者数を増やす。	徳島・鳴門・淡路島地区、高松・直島・琴平・小豆島地区、しまなみ街道地区、広島・宮島・岩国地区等
6	スピリチュアルな島～四国遍路～ Spiritual Island ～SHIKOKU HENRO～	四国ツーリズム創造機構 会長:松田清宏(JR四国取締役会長)	お遍路やお接待の心の文化や1200年の歴史・史跡を活かし、コンパクトな四国や素朴さをアピールし、欧米等の海外からの誘客を積極的に図る。	にし阿波地区、高松・東讃地区、今治・西条・新居浜地区、四万十・足摺地区等
7	温泉アイランド九州 広域観光周遊ルート Extensive sightseeing route of ‘Onsen Island’ Kyushu	九州観光推進機構 会長:石原進(JR九州相談役)	全国一の温泉源泉数と湧出量を誇る温泉をコンセプトとし、歴史文化・自然・食を活用したルート。韓国、中華圏、欧州のFIT旅行者の拡大を図る。福岡から西九州、東九州への呼び込みを目指す。	福岡地区、長崎地区、阿蘇・黒川地区、宮崎地区、鹿児島地区等